



**ココカマキリ♀**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 磯田結月



**ココカマキリ**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 荒井彩



**オオカマキリ**

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



**オオカマキリ**

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 松浦遥



**オオカマキリ♀**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 高橋茂



**オオカマキリ♀**

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 山本侑樹



**オオカマキリ♀**

- ① 平塚市万田 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 永井樂



**オオカマキリ♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 下田加奈子



**オオカマキリ卵鞘**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 高橋恵利佳



**オオカマキリ♂**

- ① 平塚市ふじみ野 同定：—
- ② 2023年11月下旬 備考：—
- ③ 山田琉華



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



**チョウセンカマキリ♂**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 鈴木綾大



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 伊藤瀬南



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



**チョウセンカマキリ♀**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 大木奏



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 山本侑樹



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 長塚杏



**チョウセンカマキリ♀**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 磯田結月



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 中村いと



**チョウセンカマキリ**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 鈴木綾大



**ハラビロカマキリ♂**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 杉山凜空



**ハラビロカマキリ♂**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 高橋茂



**ハラビロカマキリ♀**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 大森社馬





ハラビロカマキリ

- ① 平塚市片岡 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 遠藤梓紗



ハラビロカマキリ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 丸山あかり



ハラビロカマキリ古卵鞘

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 津田瑛翔



ハラビロカマキリ♀

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 一瀬希織



ムネアカハラビロカマキリ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：国外外来種
- ③ 長谷川大洋



アブラゼミ

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：期間外
- ③ 小松稜亮



アブラゼミ♂羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 梅澤来心音



アブラゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 原結莉華



アブラゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 瀬戸康太



アブラゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 大庭時稀



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 石黒睦斗



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 鈴木萌加



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 津田瑛翔



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



ニイニイゼミ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



アオバハゴロモ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 佐藤景



ヒメホシカメムシ

- ① 秦野市曾屋 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



キマダラカメムシ幼虫

- ① 平塚市漣 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：国外外来種
- ③ 荒井啓三



トホシカメムシ

- ① 平塚市上吉沢 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



ヒメカマキリモドキ

- ① 秦野市曾屋 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



クロシテムシ

- ① 秦野市曾屋 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：—
- ③ 小松望結



センチコガネ

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



コクワガタ♂

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



コクワガタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 丸山誠史





カブトムシ♂

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



カブトムシ幼虫

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 平野楓果



カブトムシ幼虫

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 横田隼也



カブトムシ幼虫

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



カブトムシ幼虫

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



シラホシハナムグリ

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：県RDB絶滅
- ③ 小松颯真 (外来個体群と推定される)



ヤマトタマムシ(死体)

- ① 秦野市曾屋 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 小松望結



ナナホシテントウ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 原結莉華



サトミアシゴミシダシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 高橋茂・鈴木綾大



キボシカミキリ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 杉山凜空



キボシカミキリ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



キボシカミキリ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 武田瑠華



ヨモギハムシ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：ヨモギの葉上
- ③ 津田葵依



アゲハモドキ

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



オオミズアオ

- ① 秦野市鶴巻 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



エビガラスズメ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



エビガラスズメ幼虫

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 石川大翔



オオスカシバ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



ヒメエグリバ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



フタゴリアアオイガ幼虫

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：オクラの葉
- ③ 荒井啓三 旧和名フタゴリコヤガ



シマケンモン幼虫

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：シマトリネコの葉
- ③ 石川敏大



ジャコウアゲハ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 石川瑛菜



ジャコウアゲハ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



ジャコウアゲハ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 秋山颯汰





**キアゲハ**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 滝澤英茉



**キアゲハ幼虫**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 高橋茂



**アゲハチョウ (ナミアゲハ)**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 佐野愛子・紗弥子・龍生・陽向子



**アゲハチョウ (ナミアゲハ)**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 山口夏希



**アゲハチョウ (ナミアゲハ)**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



**アゲハチョウ (ナミアゲハ)**

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



**アゲハチョウ (ナミアゲハ)**

- ① 茅ヶ崎市芹沢 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 平野零



**クロアゲハ**

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



**カラスアゲハ**

- ① 平塚市下吉沢 同定：中村進一
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



**アオスジアゲハ**

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 小松稜亮



**アオスジアゲハ**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 横山さち



**アオスジアゲハ**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 鶴田航己



**キタキチョウ**

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 小松望結



**モンキチョウ**

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 津田葵依



**モンキチョウ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 宮良啓永



**モンシロチョウ**

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 佐藤玲愛



**モンシロチョウ**

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 佐藤景



**モンシロチョウ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 加藤希



**モンシロチョウ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 宮良啓永



**ベニシジミ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 小林桜花



**ベニシジミ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 門倉あん



**ウラナシジミ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



**ヤマトシジミ**

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 佐藤景



**ヤマトシジミ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜





ツマグロヒョウモン

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



キタテハ

- ① 茅ヶ崎市芹沢 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 平野零



キタテハ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 荒川碧



ヒメアカタテハ

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



ジャノメチョウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 大森社馬



ナゴガネグモ♀

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



サツマノミダマシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：新井浩司
- ② 2023年6月中旬 備考：期間外
- ③ 大木奏



モクスガニ♀

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 石川政大



サワガニ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 井上日葵



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 門倉あん



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 井上愛菜



ヒラテナガエビ

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 石川大翔



アメリカザリガニ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：国外外来種
- ③ 浮田剛希 (緊急対策外来種)



ミスジマイマイ殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 安田雅宗



ニホンアマガエル

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 鶴田航己



ニホンアマガエル

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 小松真真



ニホンアマガエル

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 片沼遼也



ニホンアマガエル

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 植松凌己



ヤマアカガエル

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 荒井啓三



ニホンカナヘビ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 丸山誠史



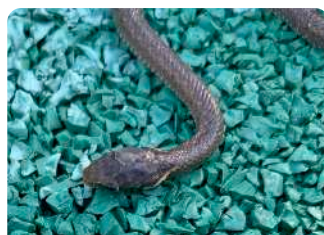
ニホンヤモリ

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 石川政大



ヒバカリ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：県RDB準絶滅危惧
- ③ 高橋茂



ヒバカリ

- ① 茅ヶ崎市芹沢 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：県RDB準絶滅危惧
- ③ 平野零

**DATA**

創刊号からの累計

昆虫類 672種 (New 3種)

ヒメホシカメムシ

ヒメカマキリモドキ

シマケンモン

その他 217種 (New 1種)

サツマノミダマシ

※種名が判明したものに限り

**END**



地域の自然を  
知ろう！  
学ぼう！  
伝えよう！

# ア ひらおか ようちえん クションレポート

2023.9月～11月

## 秋



左／真っ赤に熟れたカラスウリ (11/3 平塚市土屋)  
右上／秋の里山探検 (11/3 平塚市土屋)  
右中／アオバト観察会 (9/23 大磯町大磯)  
右下／金目川生きもの観察会 (9/3 平塚市南金目)

2023年11月3日 10:00～11:30

### 秋の里山探検

● 平塚市土屋

平塚市土屋の里山体験フィールドで、有志の園児家族と一緒に里山探検を行いました。11月といえば晩秋の季節ですが、当日は夏日を感じさせるほど暑く、生きものたちも活発に活動する姿が見られました。参加者の皆さんには、目についた生きものを自由に捕獲してもらいました。

「赤とんぼ」で最も多かったのはマユタテアカネで、その次がアキアカネ。ナツアカネは僅かでした。「カマキリ」は、コカマキリ、チョウセンカマキリが多く、オオカマキリは卵しゅうだけでした。「バッタ」は、オンパッタは多くみられましたが、夏に大量に見られたイナゴ類が僅かしかいませんでした。種類によっては、成虫がほとんど見られなくなっているものもいて、暑いながらも季節の節目を感じる内容となりました。

樹林地ではカブトムシの幼虫、散策路の道端ではアカタテハの幼虫が見つかり、「育ててみたい！」という園児が少しだけ持ち帰りました。飼育も、探検の楽しみ方のひとつです。

左上／トンボの持ち方も手慣れたもの 右上／初めてカマキリを持ってみる 左下／飛ぶ虫の捕獲にチャレンジ！ 右下／里山の手作り遊具で遊ぶ





2023年9月23日(土) 7:30～8:30

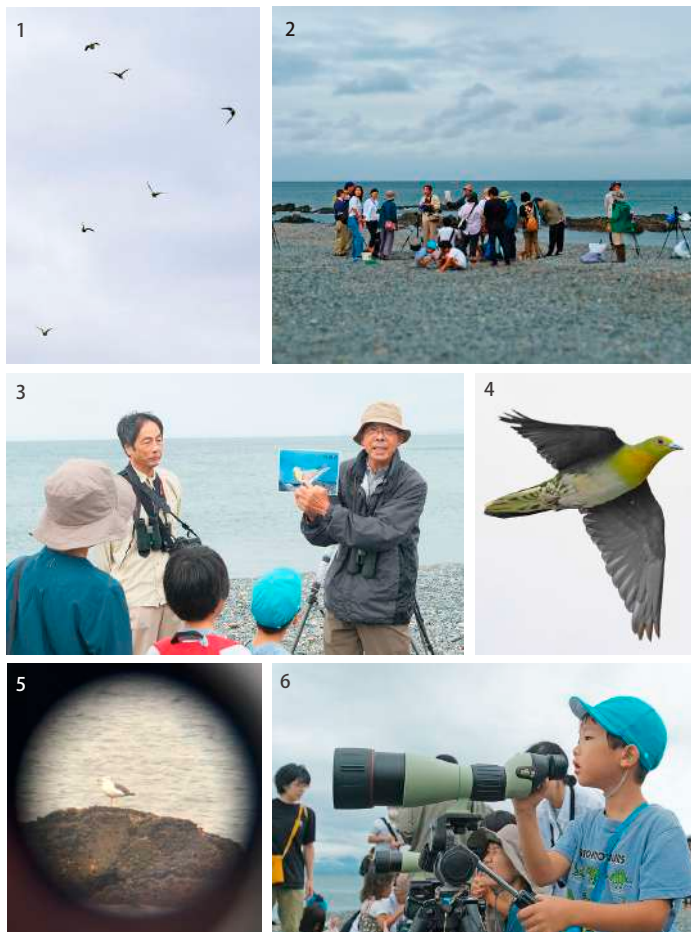
## 珍記録となったアオバト観察会 ● 大磯照ヶ崎海岸

アオバトは、丹沢などの山地で暮らす“森のハト”ですが、塩分補給のために海までやってきて海水を飲むという不思議な生態を持っています。大磯町の照ヶ崎海岸は、全国屈指の観察ポイントで、アオバトの集団飛来地として県天然記念物にも指定されています。

当日は微妙な空模様でしたが、観察会開始の少し前に6羽が飛来したとのこと。観察会が始まり、今か今かと飛来を待ったのですが、結局アオバトの姿はみられませんでした。前日の降雨の影響で、丹沢から移動してきた個体が少なかったようです。講師を務めていただいた野鳥調査グループ「こまたん」の皆さんも「長いことこの時期に観察会をしてきたけれど飛来ゼロは初めて！」と驚く珍記録となりました。天気がよければ、朝日に輝くオリーブ色の美しいアオバトが、ゴクゴクと海水を飲む姿を観察できたはず。実際、翌日は天気に恵まれて50羽の群れが何度も飛来したとのこと。また来年リベンジしたいと思います。

まさかのアオバトが見られない事態にも、参加者の心をつかむ楽しい解説をしていただいた「こまたん」の皆さま、ありがとうございました。

1 / 観察会開始前(朝6:51)に飛来した6羽。2 / 曇天の照ヶ崎海岸。  
3 / アオバトの解説をしてくれた金子典芳さんと斎藤常貴さん。4 / 写真1の中の1羽…翼の羽(初羽P6)が左右とも伸びている最中とのこと(金子氏談)。秋の渡りに備えるため11月頃までに換羽を済ませる。  
5、6 / ウミネコなど他の鳥の観察を楽しむ参加者。



2023年9月3日(日) 10:00～12:00

## 金目川生きもの観察会 ● 金目川観音橋

平岡幼稚園の近くを流れる金目川で生きもの観察会を行いました。コロナ禍により、実に4年振りの開催です。金目川は、丹沢山地を主源流とする2級河川で、近年は水質が改善されて多くの生きものが見られるようになってきました。

川の本流に入ることは、幼児対象ではなかなかハードルが高いのですが、金目川水系流域ネットワークの皆さんに安全面でご協力いただきました。また魚類や甲殻類の専門家である相模湾海洋生物研究会の木村喜芳先生、齋藤和久先生に解説をしていただくことができました。心より御礼申し上げます。

当日はそれほどの種数は確認できませんでしたが、魚類(アユ、オイカワ、カワムツ、ヒガシシマドジョウ、シマヨシノボリ、ボウズハゼ、スミウキゴリ、ヌマチチブ)、エビ・カニ類(ヒラテテナガエ、ヌマエビ、カワリヌマエビ属の1種、モクズガニ)、昆虫類(コシボソヤンマ幼虫、コヤマトンボ幼虫、ハグロトンボ幼虫)などが見つかりました。子どもたちにとっては、初めて見たり触れたりするものも多かったのではないかと思います。観察会の最後に捕まえた生きものを集めて水族館を作り、皆で観察を楽しみました。

上 / 上流側で石をひっくり返し、お父さんが網を構えて生きものが入るのを待つ。下左 / この日一番の大物モクズガニ。下中 / オイカワの幼魚を捕まえてにっこり。下右 / 即席水族館のもとに集まる参加者。





2023年9月16日(土) 13:30～15:30

### みんなで調べよう平塚のカマキリ 野外ガイダンス(成虫編)

平岡幼稚園と平塚市博物館のコラボ企画「みんなで調べよう平塚のカマキリ」の野外ガイダンスを、平塚市土屋の里山体験フィールドで行いました。

湿地、草地、樹林がセットで見られるこの場所には、在来種4種(オオカマキリ・チョウセンカマキリ・ハラビロカマキリ・コカマキリ)が生息します。みんなでカマキリを探しながら、種類による生息環境の違いを調べたり、同定可能な撮影の仕方などを伝授したりして楽しみました。

カマキリ類の成虫は背面からのアングルでは種が判別しにくいので、腹側からの撮影がベストです。そのためには、持ち方も重要です(右写真2～5参照)。個体数が少ない場所ではなかなか見つからないカマキリも、ここではたくさん見つかるので、調査のやり方を事前練習できたのではないかと思います。



- 1 交尾や捕食など様々なシーンとの遭遇を楽しむ参加者
- 2 ハラビロカマキリ
- 3 オオカマキリ(ショウリョウバッタを捕食)
- 4 チョウセンカマキリ
- 5 コカマキリ



調査は2024年2月末まで行います。冬季は卵鞘を調べます。成虫よりも卵の方が見つけやすいので、平塚市近隣にお住まいの方は、下の図鑑を参考にして、ぜひ市内で探してみてください。



#### オオカマキリ

スポンジ状で独特の形状をしているので判別は容易。草や枝に付いていることが多い。



#### チョウセンカマキリ

細長く、中央の縦筋の盛り上がり強い(断面は凸状)。草や枝に付いていることが多い。



#### コカマキリ

倒木、石などの物陰になるような場所に付くことが多い。



#### ハラビロカマキリ

樹木の枝・幹、家屋の外壁など様々な場所で見られる。



#### ムネアカハラビロカマキリ

細い枝に付くことがほとんど。接地面は上部のみで、下部は浮き上がる。白い粉で覆われるのも特徴。中国原産の外来種。

## 平塚のカマキリ 卵鞘図鑑

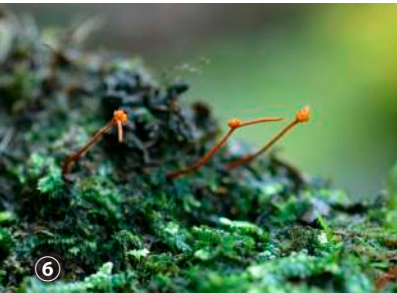
### 平塚のカマキリ調査に参加しませんか？

▶「いつ」「どこで」「だれが」の情報を添えて写真をお送りください。発見場所はできるだけ詳しくご記入願います。(調査期間 2024年2月末まで)

写真送付先 QRコード  
ikimono@hiraoka-kg.com







第14回 吉田先生編 ⑩ **心が育つ  
幼児教育**



- 1 タマゴタケ
- 2 シイタケの胞子が飛ぶ様子
- 3 カキノミタケ
- 4 カメムシタケ
- 5 ナラタケ
- 6 ホソエノアカクビオレタケ
- 7 セミノハリセンボン

不思議なキノコたち

秋は日暮れが早くなるので、生き物たちは目覚めると食べ物がしに忙しい。渋柿を野鳥が食べ、落ちた残りの柿の実をスズメバチやチョウ、ハエなどが食べ尽くし、種だけが残っていた。その種は、芽生えるものもあるが、菌に感染しキノコになるものもある。名はカキノミタケと言いつ、柿の種から生えてくる南方系のキノコである。

昆虫に生えるキノコを冬虫夏草と言いつ、カメムシに生えるカメムシタケは見つけやすい。その他にトンボやセミ、アリや蛹から生えるキノコもある。ぜひ探してみよう。調査すれば新しい発見が待っている。水辺に近いコケ類の下にいるハエの幼虫から、ホソエノアカクビオレタケが生えているのを知ったのは後日で、見つけた時よく調べればよかったと思った。

キノコは秋の山の幸。時々山の食堂でキノコ汁が出ることがあるが、その味は忘れられない。晩秋に見つけたナラタケでキノコ汁を作ると、食堂で食べた味と変わらないくらい美味しかった。素材は大切である。

晴れて風もない小春日和の日に、エナガやシジュウカラの声に誘われて雑木林に入ると、鳥たちは楽しそうに飛び回っていた。オレンジ色の鮮やかさが目立つタマゴタケの傍を通り過ぎ、シイタケ栽培用のほだぎを見てみると、何か煙のように流れていくものが見えた。気のせいだろうと思いがらじつと見てみると、シイタケの胞子が飛んでいた。胞子が飛ぶのを見たのは初めてのことだ、今日の日が、胞子の飛ぶ良い気象条件に恵まれたことに感謝した。

キノコをはじめとする菌類は、生態系の中で生き物を分解し、土へと還す大切な役割を果たしている。人間の目に触れないところで、実にさまざまな生き物たちが繋がっているのだ。人間もまた、このような命の営みに支えられて生きていることを忘れてはならない。



文・写真 吉田文雄

鹿児島大学卒。元小中学校理科教師。公立中学校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。著書に、『あつぎ自然歳時記』（国書刊行会）、『自然は友だち 春夏編』（神奈川新聞社）などがある。





第11回

# 知育ゲーム

出題：編集部 画：富岡誠一

ゲンジボタルの大人（成虫）は  
何を食べているでしょうか？

- ① アブラムシ
- ② 草
- ③ 食べない

(答えは下の欄)

● **ダウンロード** 平岡幼稚園HPからPDFがダウンロードできます。

● **頒布** 無料で各号ひとり部に限り、平岡幼稚園にてお渡ししています。(※ 要事前連絡)  
ikimono@hiraoka-kg.com もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで

● **配架・所蔵** 以下の施設でも閲覧できます。

【図書館】 国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図書館、横浜国立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館、※秦野市立図書館、鶴見大学図書館 ※印は蔵書登録なし

【博物館等】 県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館、観音崎自然博物館、茅ヶ崎市博物館

【その他】 神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、県立足柄ふれあいの村、秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園のものはな館、箱根町立森のふれあい館、はこね・おだわら昆虫館、平塚市立びわ青少年の家、平塚市町内福祉村おかざき鈴の里、うみねこ博物堂、平塚市立土屋霊園、Mushi-sha(むし社)

## Back Number

過去号閲覧



湘南自然誌 PDF版  
hiraoka-kg.com/culture/



## Publisher

発行元

# HIRAOKA Kindergarten

平岡幼稚園



平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をピオトープにして、周囲に住む多様な生物を呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行っています。1967年開園、園地総面積7716㎡。

主な受賞歴

- 2014年 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に選定
- 2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
- 2019年 かながわ地球環境賞(神奈川県)
- 2020年 日本生態系協会賞(公財・日本生態系協会)
- 2021年 地域環境保全功労者表彰(環境省)



website

## Answer

知育ゲーム答え

答えは③ ゲンジボタルは、水の中で暮らしている幼虫時代に、カワニナという貝を食べて大きくなり、成虫になってからは何も食べずにわずかに水を飲むだけです。

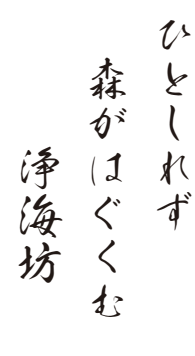
## Editor's Note

編集後記

今号の特集は、ジョウカイボンというマイナーな昆虫を取り上げることとなりました。一般受けする特徴のある虫ではないので、なるべく親しみやすいデザインにし、内容も読みやすさ重視であり難しい話にならないように工夫しました。かといって内容が薄いわけではなく、特に「湘南地域のジョウカイボン全種図鑑」は、書籍でもネットでも見ることでできない貴重なものとなったと思います。取材を受けて下さった高橋和弘先生、ありがとうございました。

次号の特集は、昆虫専門店『むし社』です。春に向けて採集用品のグレードアップを考えている方必見です。最後に、生物の同定でお世話になった諸先生方に感謝申し上げます。(富岡)





ひとしれず  
森がはぐくむ  
浄海坊

編集部

ジョウカイボン科  
Cantharidae

この仲間を通称ジョウカイボン（浄海坊=英名 Soldier beetle）と呼ばれる。地味な色合いの種が多く、熱心な愛好家は少ないが、国内に370種生息する多様なグループだ。大磯町で発見されて新種登録されたものもあり、湘南にもゆかりのある昆虫である。

特集 ジョウカイボンってどんなムシ？